

## MeSH 解剖学用語の変遷

阿部信一

東京慈恵会医科大学学術情報センター

Medical Subject Headings (MeSH)は、National Library of Medicine (米国国立医学図書館：NLM) で発行する索引誌 Index Medicus (IM)の件名標目 (見出し語) として 1960 年に第 1 版が発行された。その後、毎年 1 回改訂され、現在では MEDLINE/PubMed など多くのオンライン・データベースのシソーラスとして利用されている。MeSH は用語の種類によってカテゴリー別に階層関係になっている。カテゴリーは 2006 年の V カテゴリー (出版特性) の新設により現在 16 のカテゴリーに分かれ、階層は 2004 年に 11 階層まで拡張されている。たとえば、胃や肺といった部位に関する用語なら A カテゴリー (Anatomy：解剖) に、胃炎や肺癌のような疾患に関する用語なら C カテゴリー (Diseases：疾患) になる。

最近の MeSH の改訂は各専門分野における標準的な名称に合わせようとする方向性が見られ、2004 年で微生物学の分類法 (Bergey's manual of systematic bacteriology) の改訂を反映して細菌関係の用語が変更されたり、2006 年には Centers for Disease Control and Prevention (米国疾病管理・予防センター) との協力によって微生物関係のサブカテゴリーを新設するなど、各カテゴリーについてこのような標準化の動きが続いている。2008 年版 MeSH でも、A カテゴリーには 38 語が新設された。心臓血管系の用語が Endocardial Cushions (心臓内隆起) など心臓内を今までよりも細密に表現するための新設語が 7 語追加され、耳に関わる Ear Auricle (耳介) など 4 語や脳に関わる Cerebrum (大脳) など 3 語が新設されるなど、例年多い組織や細胞関係以上に動きがあった。

MeSH のこのような標準化の動きは今後も継続すると思われる、ここ数年の MeSH の改訂の動きを特に解剖学用語を中心に分析し、現状における検索上の注意や今後の方向性について考察した。